CBTセンター20周年企画　第三弾

ガイドラインやマニュアル通りにはいかない学校臨床の現場で、私たちはどう「軸」を持って子どもや学校組織と向き合うべきか？

本講演では、単なる技法の紹介にとどまらず、「データと哲学に裏打ちされたアセスメント（見立て）」「学校組織内でのポジショニング」「困難事例への鮮やかで柔軟なCBTの実践」までを網羅的に解説します。

曖昧になりがちなスクールカウンセリングの実践を一歩深め、明日の見立てを変えるための、初学者から中堅・ベテランまで必見の講演です。

出版記念講演

学校臨床における不登校、子どもの心の困り事をどう見立てるか？

～認知行動療法の基本と柔軟な実践、危機対応まで～

12/27（日）

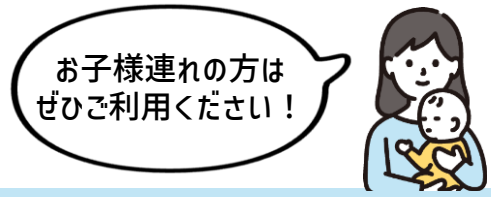
日時
2026年12月27日（日）
10:00～16:30

会場
大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

料金
会場・録画：
10,000円

割引き
大学院生割・子育て割
1,000円OFF

託児
無料でご利用いただけます。
詳細はイベントページにて。



主催・問い合わせ
一般社団法人CBTを学ぶ会
study@cbtcenter.jp

後援
株式会社金剛出版

協賛
CBTセンター

お申込み
スマホで簡単アクセス
QRコードから
お申込みください

医療機関でのカウンセリングや、産業カウンセリング、スクールカウンセリングなどの経験を積んだ後、認知行動療法の技術で飯が食えるか、社会実験として2005年CBTセンターを開業。
以来地道に臨床実践を重ねていくことで、地域の医療、産業、福祉、行政、司法機関などと連携して仕事をしている。
アラフォーから一念発起して博士課程に進学し、10年かけて医学博士を取得。
近年は福祉分野にも進出している。

講師

西川公平

CBTセンター所長
一社）CBTを学ぶ会代表理事
滋賀医科大学客員講師

主な資格等

医学博士
公認心理師
専門行動療法士
認知行動療法スーパーバイザー

「事例にまなぶ」とあるように、認知行動療法を様々な媒体で知っていても、実際にどのように考えるのか、適応するのかというのは、難しいと感じてしまう人に対して認知行動療法を身近に感じられる本でした。

筆者がこれまで経験してきたものが詰まっている感じがあり、繰り返し読める本だと思いました。認知行動療法に疎かった私も触れやすくとても勉強になりました。

私はdyslexiaがあり書籍は何日もかけて読む。しかし本書は2日で読んだ。それくらい読むモチベーションが湧く。また内容も参考になる。私も支援者であるが「著者は"分かってる"人だ」と感じた。なんとなく抽象的な理念と抽象的な解釈は一切無く、全てが具体的だった。著者とは専門分野が違うので当たり前と言えば当たり前だが、著者のような実績を出す自信はない。ただ、本書より多数ヒントをもらったので2〜3年以内には追いつきたい。

多くの読者の方から ご好評の声をいただいています

CBTの本質をわかっている方の考え方と実践の記録(事例)です。難事例を楽しみながらクライエントさん、そのご家族と向き合っています。

スクールカウンセラーとして、子どもさんたちと向き合った記録ではありますが、成人期以降も含めて、考え方やアプローチの基本を教えてもらえます。

ネットの情報から、CBTと使ったカウンセリングを希望して予約されるクライエントさんもいますが、どなたのどのような状態でも有効な魔法の杖ではありません。この点も、しっかり釘を刺してくれています。もちろん、お勧めできる良書です。

本書は、スクールカウンセラーという曖昧な立場に胡座をかき、単に心理療法の実践の場を学校に鞍替えしただけで仕事した気になっている臨床家界隈に一石を投じる一冊です。

同時に、認知行動療法をガイドラインやマニュアル本で身につけたつもりになって、理論や哲学の部分で勝負していない自称認知行動療法家に対しても、「専門家なら当然ここまでやるよね？」と挑戦状を叩きつけるような本でもあります。
読み応えがありつつも、痛快な語り口で一気に読めてしまいます。
初学者、中堅者問わず、オススメできます。

☆書籍情報☆

事例にまなぶ認知行動療法: 子ども×学校の困りごとが解決に向かうマインドセット（金剛出版［2025］）
ISBN　9784772420969
定価　3,080円（本体2,800円＋税）A5判・200ページ

金剛出版　商品ページ
https://www.kongoshuppan.co.jp/book/b660018.html